

# がんばれ熊建労

福岡県建設労働組合

〒815-0031

福岡市南区清水1丁目22-9

福建労本部(内)

TEL : 092-511-4703

FAX : 092-511-4752

## 青年部「全国の仲間の大切さわかった」と熊建労の仲間から謝意

5月22日に「青年部」が『熊本ボランティア活動』をおこないました。参加者は5支部15人でした。

『支援物資』を届け『がれきの撤去作業』と『組合員訪問』に分かれて行動。『がれき撤去』では、益城町に近い熊本市東区の半壊の家で作業。撤去した「がれき」の量は2tロングトラック1台では足りないほどで、改めて今回の地震のすさまじさを感じました。

参加した部員は「初めて生で被災地を感じ、テレビで見る何倍ものひどさだった。完全な復興には何年もかかると思う。これから自分たちに何ができるのか。福岡の仲間に伝え、考えていきたい」と話しました。

組合員訪問行動で「福岡から来ました」とあいさつすると、「本当にありがとうございます。今回の震災で全国の仲間の大切さがわかった」と話される方も多くいらっしゃいました。9班で約150人の仲間の訪問ができました。この訪問・対話の中で、共済制度を知らなかった仲間への周知ができたたり、避難所生活をしていた仲間の現在の住まいが確認できたりと、災害支援に貢献することができました。



熊建労での支援物資積み下ろし作業

## 主婦の会 甚大な被害に言葉なくす

5月28日(土) 福建労主婦の会は、菅書記

長、主婦の会県役員5名、担当書記2名の計8名で、熊建労への激励訪問をおこないました。

応対した千原熊建労主婦の会会長は「電気も、水道も止まり大変でした。特にトイレが流せず困りました。車中泊の方が多く、これからの健康面が心配です。また車中泊の方は、足も伸ばして睡眠をとることができません。まさか、熊本でこんな震災があるとは。明日は我が身です」と話され、福建労大戸主婦の会会長から、激励の言葉とともに、お見舞いを受け取られる際には、会長からは、おもわず涙が流れていました。

懇談の後、千原会長と熊建労本部書記2名の方の案内で益城町の視察をおこないました。「2回目の地震の時には、夜中だったので、朝が来るまで長く感じたし死ぬかと思った」との話しに、地震の凄さが想像を超えるものだと実感しました。そんな状況の中でも、熊建労の方は、組合員の安否確認を最優先にしていました。(2面に続く)



千原熊建労主婦の会会長(左)へお見舞いを渡す

実際に現地に行き被害の実態をみると参加者全員息をのみ、声が出ない状況でした。震災発生から一カ月が過ぎて、健軍電車表通りなんかは道路も復旧して、見た目はそこまでの被害はないようにみえましたが、少し横にずれると、健軍も、益城町も大きな被害でした。家は傾いていたり、倒壊し一階が二階によってつぶれていたり、倒壊した家の前には、花が手向けられていたところもありました。道路もひびが入っていました。震源地に近いところでは、新しい家も、古い家も被害がでていました。震源地から遠く離れたところでは、液状化によって、地盤沈下が起こっているとのこと聞きました。また6月過ぎてからの家屋の撤去作業が実施されないと、公の補助の対象にならないとも聞きました。今回の訪問の中で建設労働組合の主婦の会として、特に福岡と熊本は隣県であり仲間同士助けあっていくことを確認しました。

【大戸照子会長】 報道で見るのとは違い言葉で語る当日の恐怖や困難状況は想像以上。益城町では、つぶれた家屋の上に2階だけがのっていたり、将棋倒しのように崩壊の家屋の現状に声はなく無言が続き涙だけが流れました。会長とは今後も支援活動が続けることを誓い励まし合いました。

### 応急仮設木造住宅建設視察 阿蘇市の2現場を視察。 県役員・書記で参加

6月12日（日）、6月19日（日）

今後の熊本応援（すべての支部から参加するように企画しました）

6月5日（日）福岡西、筑紫、大牟田 / 本部書記

6月12日（日）福岡東、京築、 / 本部書記

6月26日（日）嘉飯、久留米、筑後、八女、大川三瀨、 / 本部書記

7月3日（日）粕屋、北九州、浮羽、筑豊 / 本部書記

## 熊建労本部が移転

震災で本部事務所が倒壊の恐れがあるため使用不能となっていました。5月29日に移転することになりました。

新事務所 熊本県熊本市東区健軍4丁目5-3-2F 電話・ファックスは未だ不通

## 応急仮設木造住宅建設

仮設住宅は、着手した188戸の他に今後200戸以上の受注となる見込みであり、最終的には500戸を超える可能性があります。

福建労が仮設木造住宅建設で、三久保と内牧に27人送りだしている組合員は、2現場とも**工事着手が1日順延**(日程が一日ずれる)となりました。

## 熊建労、大分建労の被害状況について

熊本建労の被害状況(5/26現在)は、人的被害(ケガ)は23人(宇城10、東部7、西部6)、住宅被害は全壊91件(支部別：東部70、西部13、宇城6、菊鹿1、阿蘇1)、半壊又は瓦等の一部破壊等667件(東部447140、西部50、菊鹿11、八代10、阿蘇9)、土石流避難4人(阿蘇)となっています。

大分建労の被害状況(5/26現在)は、人的被害(ケガ)2人、住宅被害は半壊2件、一部破損40件報告されています。